



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 光
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 金 森 武
(コード番号：3160)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 山 大 介
兼 総 務 部 長
(TEL. 0584-89-7777)

(訂正・数値データ訂正) 平成 27 年 5 月 期 第 2 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結)
の 一 部 訂 正 に つ い て

当社は、平成 27 年 4 月 30 日付「社内調査委員会からの調査報告書の受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正を進めてまいりました。

このたび、平成 26 年 12 月 25 日付「平成 27 年 5 月 期 第 2 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (連 結)」の訂正及び数値データの訂正が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日

平成27年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	23,847	9.3	134	—	125	—	42	—
26年5月期第2四半期	21,809	7.1	△123	—	△123	—	△320	—

(注)包括利益 27年5月期第2四半期 60百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 △318百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	7.11	—
26年5月期第2四半期	△54.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	18,088	1,962	1,962	1,962	10.8	331.38
26年5月期	17,388	1,935	1,935	1,935	11.1	326.86

(参考)自己資本 27年5月期第2四半期 1,962百万円 26年5月期 1,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00	10.00
27年5月期	—	5.00	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	16.3	610	253.0	605	255.2	415	—	70.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年12月25日)公表いたしました「平成27年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	6,021,600 株	26年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	100,004 株	26年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	5,921,596 株	26年5月期2Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇や燃料費・物流費の高騰などにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、提案型営業を強化し取引先との深耕拡大を進めたことにより、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗の開業や既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりましました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は238億47百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は1億34百万円（前年同期は営業損失1億23百万円）、経常利益は1億25百万円（前年同期は経常損失1億23百万円）、連結子会社株式会社マリンドリカのナマコ取引に関して水産品事業関連損失32百万円を特別損失に計上したこと等により四半期純利益は42百万円（前年同期は四半期純損失3億20百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は147億64百万円（前年同期比10.5%増）となり、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失97百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成26年6月に尾張旭店（愛知県尾張旭市）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、平成26年9月に豊田店（愛知県豊田市）、11月に立川店（東京都立川市）を新規オープンいたしました。新規店舗の開設に加え、それぞれの店舗において、地域ごとに販売施策、品揃えの充実化に注力したことにより、売上が伸長いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は81億59百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は5億53百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として41店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、営業体制の強化により主力商品である貝類などの水産品の販売を展開し、国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は9億24百万円（前年同期比27.4%増）となり、営業損失は4百万円（前年同期は営業損失55百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して貸倒引当金が95百万円増加したものの、商品が1億47百万円増加したこと等により、流動資産は全体で5億77百万円増加しました。一方固定資産は、アマカ店2店舗の新設等により建物及び構築物が1億20百万円増加し、全体で1億22百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して7億円増加し、180億88百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が2億17百万円、短期借入金が4億57百万円増加したこと等により、流動負債は全体で7億48百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が1億6百万円減少したこと等により、全体で74百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して6億73百万円増加し、161億26百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が8百万円増加したこと等により、全体で26百万円増加し19億62百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは35百万円の支出となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1億7百万円、減価償却費2億13百万円の計上、仕入債務の増加2億17百万円等があったものの、たな卸資産の増加1億46百万円、その他の流動資産の増加6億34百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億11百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得3億14百万円の支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3億9百万円の収入となりました。これは、長期借入金の返済11億11百万円等の支出があったものの、短期借入金の純増額4億57百万円、長期借入れによる10億円等の収入によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、4億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の連結業績予想につきましては、平成26年7月14日公表の業績予想を修正しております。詳細は本日別途公表の「平成27年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が6,232千円増加し、利益剰余金が4,063千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,293	807,185
受取手形及び売掛金	4,900,470	4,800,971
有価証券	14,495	—
商品	2,766,631	2,913,738
貯蔵品	9,138	8,507
繰延税金資産	89,632	102,234
その他	995,607	1,660,635
貸倒引当金	<u>△280,397</u>	<u>△375,546</u>
流動資産合計	<u>9,339,872</u>	<u>9,917,725</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,917,511	4,038,386
その他(純額)	986,394	994,526
有形固定資産合計	<u>4,903,906</u>	<u>5,032,913</u>
無形固定資産	56,295	57,142
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692,845	1,687,104
その他	1,417,836	1,415,998
貸倒引当金	<u>△21,847</u>	<u>△21,901</u>
投資その他の資産合計	<u>3,088,834</u>	<u>3,081,201</u>
固定資産合計	<u>8,049,036</u>	<u>8,171,256</u>
資産合計	<u>17,388,908</u>	<u>18,088,982</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,901,028	5,118,755
短期借入金	2,602,000	3,059,000
1年内返済予定の長期借入金	2,087,192	2,082,636
未払法人税等	48,965	94,109
賞与引当金	151,713	171,727
ポイント引当金	37,033	39,663
その他	780,384	790,663
流動負債合計	10,608,316	11,356,555
固定負債		
長期借入金	3,994,834	3,887,856
役員退職慰労引当金	226,293	237,674
退職給付に係る負債	244,269	258,439
資産除去債務	253,493	262,779
その他	126,147	123,390
固定負債合計	4,845,037	4,770,139
負債合計	15,453,353	16,126,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,084,926	1,093,348
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	1,904,887	1,913,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,698	41,369
繰延ヘッジ損益	△17	18,274
退職給付に係る調整累計額	△13,013	△10,665
その他の包括利益累計額合計	30,667	48,978
純資産合計	1,935,554	1,962,287
負債純資産合計	17,388,908	18,088,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
売上高	21,809,441	23,847,280
売上原価	17,651,756	19,312,000
売上総利益	4,157,685	4,535,279
販売費及び一般管理費	4,280,728	4,400,995
営業利益又は営業損失(△)	△123,043	134,284
営業外収益		
受取利息	5,774	5,200
受取配当金	4,139	4,360
受取賃貸料	21,879	38,601
受取手数料	9,622	10,128
その他	11,706	8,961
営業外収益合計	53,122	67,252
営業外費用		
支払利息	25,211	22,046
賃貸費用	18,868	38,642
固定資産除売却損	5,841	7,828
その他	3,653	7,308
営業外費用合計	53,573	75,825
経常利益又は経常損失(△)	△123,494	125,710
特別利益		
投資有価証券売却益	2,731	14,238
特別利益合計	2,731	14,238
特別損失		
減損損失	9,295	—
水産品事業関連損失	207,905	32,940
特別損失合計	217,200	32,940
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△337,963	107,009
法人税、住民税及び事業税	4,916	84,402
法人税等調整額	△22,407	△19,486
法人税等合計	△17,490	64,915
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△320,472	42,093
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△320,472	42,093

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	<u>△320,472</u>	<u>42,093</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	△2,329
繰延ヘッジ損益	1,646	18,291
退職給付に係る調整額	—	2,348
その他の包括利益合計	<u>1,985</u>	<u>18,310</u>
四半期包括利益	<u>△318,486</u>	<u>60,404</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△318,486</u>	<u>60,404</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△337,963	107,009
減価償却費	226,409	213,474
減損損失	9,295	—
のれん償却額	983	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	220,740	95,203
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,067	20,013
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,490	2,630
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,309	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,967	11,381
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	11,538
受取利息及び受取配当金	△9,914	△9,561
支払利息	25,211	22,046
固定資産除売却損益(△は益)	5,841	7,828
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,731	△14,238
売上債権の増減額(△は増加)	△286,614	99,499
たな卸資産の増減額(△は増加)	77,833	△146,475
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△200,061	△634,789
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,579	217,727
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,581	△43,422
その他	98,577	50,872
小計	△220,491	10,738
利息及び配当金の受取額	4,818	5,230
利息の支払額	△24,944	△22,049
法人税等の支払額	△35,620	△29,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△276,238	△35,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,046	△314,941
無形固定資産の取得による支出	△7,813	△4,761
投資有価証券の取得による支出	△55,476	△6,446
投資有価証券の売却による収入	152,657	37,448
建設協力金の支払による支出	—	△10,810
敷金及び保証金の差入による支出	△35,278	△8,100
その他	△6,047	△4,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,005	△311,865

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	292,000	457,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,144,367	△1,111,534
リース債務の返済による支出	△5,076	△6,194
配当金の支払額	△29,555	△29,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,001	309,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△190,089	△37,108
現金及び現金同等物の期首残高	507,884	514,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	317,794	477,185

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,359,257	7,724,881	<u>725,303</u>	<u>21,809,441</u>	—	<u>21,809,441</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	13,052	48,379	61,431	△61,431	—
計	13,359,257	7,737,933	<u>773,682</u>	<u>21,870,873</u>	△61,431	<u>21,809,441</u>
セグメント利益又は損失(△)	△97,546	464,759	<u>△55,725</u>	<u>311,487</u>	△434,530	<u>△123,043</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△434,530千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「水産品事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において9,295千円(うち、のれんの減損損失は4,917千円)であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,764,206	8,159,016	<u>924,057</u>	<u>23,847,280</u>	—	<u>23,847,280</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	102	7,486	29,716	37,305	△37,305	—
計	14,764,308	8,166,503	<u>953,774</u>	<u>23,884,585</u>	△37,305	<u>23,847,280</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>△18,400</u>	553,576	<u>△4,917</u>	<u>530,258</u>	△395,973	<u>134,284</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△395,973千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(訂正前)



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日

平成27年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	26,293	17.6	198	—	190	—	139	—
26年5月期第2四半期	22,355	9.8	△107	—	△108	—	△88	—

(注)包括利益 27年5月期第2四半期 158百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	23.60	—
26年5月期第2四半期	△14.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	18,457	2,334	2,334	2,209	12.6	394.18
26年5月期	17,670	2,209	2,209	2,209	12.5	373.17

(参考)自己資本 27年5月期第2四半期 2,334百万円 26年5月期 2,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年5月期	—	5.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	10.6	610	154.7	605	155.3	415	221.3	70.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年12月25日)公表いたしました「平成27年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	6,021,600 株	26年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	100,004 株	26年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	5,921,596 株	26年5月期2Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに為替の影響等による食品価格の上昇や燃料費・物流費の高騰などにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、提案型営業を強化し取引先との深耕拡大を進めたことにより、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗の開業や既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は262億93百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は1億98百万円（前年同期は営業損失1億7百万円）、経常利益は1億90百万円（前年同期は経常損失1億8百万円）、四半期純利益は1億39百万円（前年同期は四半期純損失88百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、物流業務の改善に取り組み、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は147億64百万円（前年同期比10.5%増）となり、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失97百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、より快適にお買いものいただけるよう、平成26年6月に尾張旭店（愛知県尾張旭市）をリニューアルオープンし、売場や取扱商品の見直しを行うとともに、平成26年9月に豊田店（愛知県豊田市）、11月に立川店（東京都立川市）を新規オープンいたしました。新規店舗の開設に加え、それぞれの店舗において、地域ごとに販売施策、品揃えの充実化に注力したことにより、売上が伸長いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は81億59百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は5億53百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として41店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、営業体制の強化により主力商品である貝類に加エナマコなどの水産品の販売を展開し、国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は33億70百万円（前年同期比165.1%増）となり、営業利益は59百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して商品が1億93百万円、商品の仕入れのため前渡金が増加したこと等によりその他が6億14百万円増加し、流動資産は全体で6億74百万円増加しました。一方固定資産は、アマカ店2店舗の新設等により建物及び構築物が1億19百万円増加し、全体で1億12百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して7億87百万円増加し、184億57百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が2億17百万円、短期借入金が4億57百万円増加したこと等により、流動負債は全体で7億37百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が1億6百万円減少したこと等により、全体で74百万円減少しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して6億62百万円増加し、161億22百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億6百万円増加したこと等により、全体で1億24百万円増加し23億34百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは35百万円の支出となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1億97百万円、減価償却費2億15百万円の計上、仕入債務の増加2億17百万円等があったものの、たな卸資産の増加1億92百万円、前渡金が増加したこと等によるその他の流動資産の増加5億84百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億11百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得3億14百万円の支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3億9百万円の収入となりました。これは、長期借入金の返済11億11百万円等の支出があったものの、短期借入金の純増額4億57百万円、長期借入れによる10億円等の収入によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、4億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の連結業績予想につきましては、平成26年7月14日公表の業績予想を修正しております。詳細は本日別途公表の「平成27年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が6,232千円増加し、利益剰余金が4,063千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,293	807,185
受取手形及び売掛金	4,900,470	4,800,971
有価証券	14,495	—
商品	2,766,631	2,960,201
貯蔵品	9,138	8,507
繰延税金資産	89,632	102,234
その他	995,607	1,610,455
貸倒引当金	<u>△17,741</u>	<u>△12,666</u>
流動資産合計	<u>9,602,528</u>	<u>10,276,888</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,920,528	4,039,537
その他(純額)	<u>992,986</u>	<u>995,038</u>
有形固定資産合計	<u>4,913,515</u>	<u>5,034,576</u>
無形固定資産		
	67,694	66,612
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692,845	1,687,104
その他	1,415,328	1,413,850
貸倒引当金	<u>△21,847</u>	<u>△21,901</u>
投資その他の資産合計	<u>3,086,326</u>	<u>3,079,053</u>
固定資産合計	<u>8,067,536</u>	<u>8,180,242</u>
資産合計	<u>17,670,064</u>	<u>18,457,130</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,901,028	5,118,755
短期借入金	2,602,000	3,059,000
1年内返済予定の長期借入金	2,087,192	2,082,636
未払法人税等	55,919	94,109
賞与引当金	151,713	171,727
ポイント引当金	37,033	39,663
その他	780,384	786,946
流動負債合計	10,615,271	11,352,838
固定負債		
長期借入金	3,994,834	3,887,856
役員退職慰労引当金	226,293	237,674
退職給付に係る負債	244,269	258,439
資産除去債務	253,493	262,779
その他	126,147	123,390
固定負債合計	4,845,037	4,770,139
負債合計	15,460,308	16,122,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,359,127	1,465,213
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,179,088	2,285,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,698	41,369
繰延ヘッジ損益	△17	18,274
退職給付に係る調整累計額	△13,013	△10,665
その他の包括利益累計額合計	30,667	48,978
純資産合計	2,209,756	2,334,152
負債純資産合計	17,670,064	18,457,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	22,355,475	26,293,969
売上原価	18,182,570	21,691,405
売上総利益	4,172,905	4,602,563
販売費及び一般管理費	4,280,728	4,403,923
営業利益又は営業損失(△)	△107,823	198,639
営業外収益		
受取利息	5,774	5,200
受取配当金	4,139	4,360
受取賃貸料	21,879	38,601
受取手数料	9,622	10,128
その他	11,706	8,961
営業外収益合計	53,122	67,252
営業外費用		
支払利息	25,211	22,046
賃貸費用	18,868	38,642
固定資産除売却損	5,841	7,828
その他	3,653	7,308
営業外費用合計	53,573	75,825
経常利益又は経常損失(△)	△108,274	190,066
特別利益		
投資有価証券売却益	2,731	14,238
特別利益合計	2,731	14,238
特別損失		
減損損失	＝	6,945
特別損失合計	＝	6,945
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△105,543	197,358
法人税、住民税及び事業税	4,916	77,448
法人税等調整額	△22,407	△19,846
法人税等合計	△17,490	57,601
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△88,052	139,757
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,052	139,757

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△88,052	139,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	△2,329
繰延ヘッジ損益	1,646	18,291
退職給付に係る調整額	—	2,348
その他の包括利益合計	1,985	18,310
四半期包括利益	△86,066	158,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,066	158,068
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△105,543	197,358
減価償却費	226,409	215,419
減損損失	—	6,945
のれん償却額	983	983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,384	△5,020
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,067	20,013
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,490	2,630
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,309	—
役員退職慰勞引当金の増減額(△は減少)	△17,967	11,381
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	11,538
受取利息及び受取配当金	△9,914	△9,561
支払利息	25,211	22,046
固定資産除売却損益(△は益)	5,841	7,828
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,731	△14,238
売上債権の増減額(△は増加)	△286,614	99,499
たな卸資産の増減額(△は増加)	77,833	△192,938
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△200,061	△584,610
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,579	217,727
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,581	△47,139
その他	98,577	50,872
小計	△220,491	10,738
利息及び配当金の受取額	4,818	5,230
利息の支払額	△24,944	△22,049
法人税等の支払額	△35,620	△29,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△276,238	△35,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,046	△314,941
無形固定資産の取得による支出	△7,813	△4,761
投資有価証券の取得による支出	△55,476	△6,446
投資有価証券の売却による収入	152,657	37,448
建設協力金の支払による支出	—	△10,810
敷金及び保証金の差入による支出	△35,278	△8,100
その他	△6,047	△4,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,005	△311,865

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	292,000	457,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,144,367	△1,111,534
リース債務の返済による支出	△5,076	△6,194
配当金の支払額	△29,555	△29,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,001	309,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△190,089	△37,108
現金及び現金同等物の期首残高	507,884	514,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	317,794	477,185

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,359,257	7,724,881	1,271,337	22,355,475	—	22,355,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	13,052	48,379	61,431	△61,431	—
計	13,359,257	7,737,933	1,319,716	22,416,907	△61,431	22,355,475
セグメント利益又は 損失(△)	△97,546	464,759	△40,505	326,707	△434,530	△107,823

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△434,530千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,764,206	8,159,016	3,370,746	26,293,969	—	26,293,969
セグメント間の内部売上高又は振替高	102	7,486	29,716	37,305	△37,305	—
計	14,764,308	8,166,503	3,400,463	26,331,274	△37,305	26,293,969
セグメント利益又は 損失(△)	△18,917	553,576	59,954	594,613	△395,973	198,639

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△395,973千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。